

＝ 病院の理念 ＝
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ 469 2023年 9月号
 [毎月5日発行] [定価1部20円]
 発行 東京勤労者医療会東葛病院 院長 井上 均
 〒270-0153 千葉県流山市中102-1
 TEL 04 (7159) 1011(代)
 FAX 04 (7158) 9202
<http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/>

病院図書室の役割

**東葛の医療
図書室**

豊富な医療情報を所蔵

図書室がある病院

あまり知られていませんが、全国にはスタッフ用の図書室を有する病院が少数ながら存在します。読者の中には、「患者用の図書室なら知っている」という方がいらっしゃるでしょう。

しかし、東葛病院には職員のみ利用する図書室があり、一般の方が立ち入れないエリアで間接的に皆さんを支援する役割を担っています。医療法22条8項により地域医療支援病院には、病院が提供する医療を補助する役割として病院図書室の設置が義務付けられているのです。

東葛病院図書室の紹介

当図書室は小さいながらも一室が与えられ、雑誌、図書の書棚が約15台、そして利用者用の閲覧席、パソコンなどを備えています。資料は医師専用だけでなく、看護師、薬剤師や栄養士、検査課、リハビリテーション部などドメディカル用もあり、医療用とはいえその種類は多岐に渡ります。雑誌は現在約40誌を購読している、そのすべてが日本



東葛病院図書室

語の医療系雑誌です。病院がこの地に引越してきた2017年当時には日本語雑誌と外国語雑誌を合わせて100誌ほど購読していたので冊数が激減したようにみえますが、インターネットで読む形に変わったものが多く、現在電子で契約購入しているものを合わせると、全部で2,000誌を超えるまでになっています。

図書は診療・治療ガイドラインを中心に、約3,200冊を所蔵。洋書も100冊以上あります。先月号でもご紹介したように研修医受入機関である当院は、研修医図書室の充実にも努めているほか、各学会誌や地域

の医師会誌なども積極的に収集しています。もうひとつ当図書室にある特徴的な資料として、一般書が挙げられます。1,000冊以上ある一般書は基本的に職員からの寄贈で成り立っており、平和や憲法、被曝、福祉、教育などに関する本が各コーナーになるほどそろっています。民医連スタッフの興味の対象が、どこにあるのかを伺い知ることが出来る構成となっていると思います。

入や整理のほかに、未所蔵の文献を探したり、ほかの病院図書室や大学図書館の所蔵を調査して複写を依頼したりするところに専門性があります。時には海外にも問い合わせる調査し、必要な情報を入手します。

医療情報を得るには
 読者の方に病院図書室へ直接足を運んでもらうことは叶いませんが、医学情報の入手方法を少しご案内しましょう。インターネットでは各医学会のホームページで出版物の内容を公開したり、病院や医療施設が患者さん用に丁寧でわかりやすい説明ページの作成に取り組んだりしています。これらのページをご覧になった方もおられるでしょう。

しかし、ネットが使えない方や情報の取捨選択に悩んでしまう方は、公共図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。具体的には、松戸市の21世紀の森に隣接する千葉県立西部図書館は理系分野を主に取り扱っている、館内に「医療健康」コーナーを設けています。上で示した診療ガイドラインは、患者・家族用も含め豊富に所蔵されています。医療データベースも複数あり、印刷も可能です。

また、千葉県では未実施ですが、全国的に図書館とがん相談支援センターが連携を組んで図書館での出張相談の日を設けたり、あるいは認知症カフェの開催を試みたりしている館などもあります。

医師を含めた最前線の医療従事者は、患者さんの個別の症状に少しでも近い症例はないかと文献や資料を探します。その作業を実際に手伝ったり、道筋を整えたりするのが図書室の役割です。見えないところにこんな仕事もあるのだと、興味を持っていただければ幸いです。



川村秋子司書

新型コロナウイルス当院の感染対策
 東葛病院病棟の面会を9月1日現在禁止しております

特別な事情で面会の必要がある場合は病院からお声をかけさせていただきます。入院中の患者さまのご家族で面会の希望がある方は来院される前に病棟へ連絡、またはスタッフへの確認をお願いします。面会の再開については追って院内掲示及びホームページ等でお知らせいたします。患者さま、ご家族様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

2023年9月 院長 井上 均

**第32回とうかつ健康まつり
開催のお知らせ**

2023年10月29日(日) 10:00~14:00

4年ぶりの開催！雨天決行(荒天の場合は中止の可能性あり)バザーを行いますので品物提供にご協力ください

※「本」「衣類」はご遠慮ください
 ※品物は友の会事務室または組織部までお持ちください

問い合わせ先 東葛病院組織部 04-7128-7259

毎年、終戦記念日近くになると、地上波では太平洋戦争に関するドラマや特集が多く放送されてきたように思う▼私の子供の頃は、映像メディアは地上波しかない時代で、そのような太平洋戦争に関する番組をなんとなく見ていた▼空襲や原爆投下のシーンなどショックを受けたが、なぜ悲惨なことが起きたのか？なぜこの戦争を起したのか？そんな疑問が湧き、自分なりに興味を持った記憶がある▼今、映像メディアは、地上波だけでなく、衛星放送、動画配信サービス、YouTube等インターネット：あらゆるものがあり、個人で見たい番組を取捨選択できる時代である▼その中で、太平洋戦争に関する番組を、自ら見ようという意思がなければ「触れる」ことがないまま過ごしてしまう▼「触れる」機会が少なくなることに、戦争とは？平和とは？と、考える機会も少なくなってしまうのではないだろうか▼太平洋戦争という歴史をどのように「触れさせたらいいのか、難しい問題だ(富)

聴診器

